

《担当者名》教授 / 平野 剛

講師 / 中山 章、講師 / 櫻田 渉、講師 / 早坂 敬明、講師 / 木村 治、講師 / 高村 茂生、助手 / 山本 隆弘

【概要】

医療現場（病院、薬局）で薬剤師業務を実習する。

病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようになるための基本的知識、技能、態度を修得する。

薬局薬剤師の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようになるための基本的知識、技能、態度を修得する。

【学修目標】

病院における調剤、医薬品の適正使用、リスクマネジメント、医薬品の供給・管理、医薬品情報（DI）業務、病棟業務、院内製剤、治療薬物濃度モニタリング（TDM）業務などが実践できる。

保険薬局における調剤、医薬品の適正使用、リスクマネジメント、医薬品の供給・管理、情報提供、患者接遇、健康相談などが実践できる。

医療現場での実習を通して、医療人としての倫理観と責任感を培う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1クール	薬局実習	薬学教育モデルコアカリキュラムの下記の到達目標を実施できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 F-(1)- -4～7、F-(1)- -6～15、F-(2)- -2～4、 F-(2)- -7～11、F-(2)- -9～19、F-(2)- -9～15、 F-(2)- -9～13、F-(2)- -8～14、F-(3)- -5～7、 F-(3)- -2～6、F-(3)- -7～14、F-(3)- -4～13、 F-(4)- -4～9、F-(4)- -3～4、F-(5)- -4～6、 F-(5)- -3～4、F-(5)- -5～9、F-(5)- -2～3	平野 剛 中山 章 櫻田 渉 早坂 敬明 木村 治 高村 茂生 山本 隆弘
2クール	病院実習 薬局実習	1クール目と同じ 実習期間：11週間	平野 剛 中山 章 櫻田 渉 早坂 敬明 木村 治 高村 茂生 山本 隆弘
3クール	病院実習 薬局実習	1クール目と同じ 実習期間：11週間	平野 剛 中山 章 櫻田 渉 早坂 敬明 木村 治 高村 茂生 山本 隆弘
4クール	病院実習	1クール目と同じ 実習期間：11週間	平野 剛 中山 章 櫻田 渉 早坂 敬明 木村 治 高村 茂生 山本 隆弘

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

施設の指導薬剤師による評価（50%）、実習日誌・実習週報（25%）、実務家教員による評価（実習試験、発表会を含む）（25%）

なお、一部評価において、ルーブリック表を用いる。

【参考書】

- * 「第14改訂 調剤指針」 日本薬剤師会編、薬事日報社
- * 「今日の治療薬」 南江堂
- 「医療現場で患者から学ぶ 臨床実習支援ノート」 薬学ゼミナール

【学修の準備】

指導薬剤師の指示に従って十分に予習・復習を行うこと(100分)。

【関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標】

F 薬学臨床

- (1)薬学臨床の基礎：【 臨床における心構え】、【 臨床実習の基礎】
- (2)処方箋に基づく調剤：【 法令・規則等の理解と遵守】、【 処方箋と疑義照会】、【 処方箋に基づく医薬品の調製】、【 患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】、【 医薬品の供給と管理】、【 安全管理】
- (3)薬物療法の実践：【 患者情報の把握】、【 医薬品情報の収集と活用】、【 処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）】、【 処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】
- (4)チーム医療への参画：【 医療機関におけるチーム医療】、【 地域におけるチーム医療】
- (5)地域の保健・医療・福祉への参画：【 在宅（訪問）医療・介護への参画】、【 地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】、【 プライマリケア、セルフメディケーションの実践】、【 災害時医療と薬剤師】

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

4. 卒業研究や実務実習を通じて、医療の進歩に対応できる柔軟性と、臨床における問題点を発見・解決する能力を有する。
5. 後進の育成に努め、かつ生涯にわたって常に学び続ける姿勢と意欲を有する。

【実務経験】

平野 剛（薬剤師）、中山 章（薬剤師）、櫻田 渉（薬剤師）、早坂 敬明（薬剤師）、
木村 治（薬剤師）、高村 茂生（薬剤師）、山本 隆弘（薬剤師、看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での薬剤師としての実務経験を通じて得た知識・技能・態度等を活用し、実践的な教育を行う。